



かごしまの地域を元気に! /

共生・協働の地域社会づくり

南さつま市

NPO法人 プロジェクト 南からの潮流

都市部との交流で 地域を活性化する。



【高齢者や子どもたちによる稲刈り風景】

集落とNPOとの連携 〜協働の広がり〜

南さつま市の「金峰町長谷集落」は、高齢化率が80%を超え、共同生活の維持が厳しい地域で、田畑の荒地や担い手不足などさまざまな課題を抱えている。

NPO法人「プロジェクト 南からの潮流」は、こうした課題を解決するため、長谷集落の棚田の保全など自然を活用した都市部との交流活動を行うことで、地域の活性化を図ろうとさまざまな事業を展開している。

平成19年度には、長谷集落の棚田を活用した米づくり体験を募集。鹿児島市や指宿市などから11家族30名の応募があり、集落の高齢者と応募した家族、NPO法人が一緒になって、田植えから収穫までを行ったほか、ニジマスの放流やしいたけ栽培などの交流事業を行った。

さらに、平成20年度には、長谷集落と周辺の集落を結びつけるため、自然木を活用した道標の設置や、遊歩道、トレッキングコースの整備を進めているほか、陶芸用の登り窯の設置などの事業も展開している。

本年2月には、これまでの取り組みの成果を生かして、「稚児の滝自然体験モニターツアー」を募集した。あっという間に定員が埋まり、参加者は薬草、山菜狩りやそば打ち体験、陶芸教室などの自然体験活動を満喫した。

田代昌弘^{たしろまさひろ}理事長は、「周辺の方々の協力のもと、長谷集落の住民は都市と農村の楽しい交流ができたことや、金峰町長谷集落の活性化の様子が新聞やテレビで報道されたことで、さまざまな分野の方が訪れるようになり、集落の高齢者の方々に元気が出てきたようだ」と笑顔で話す。

県では、このような地域での取り組みを広げるため、地域の自治会、ボランティア、NPOや行政が同じテーブルにつき、協働という視点で話し合うパートナーシップミーティングを地域振興局・支庁単位で開催している。

共生・協働の地域社会づくりに向けて、各地域で熱心な意見交換や情報交換がされており、こうした地域の課題解決に取り組む集落とNPOが連携するなど、地域におけるさまざまな協働の取り組みへの展開が期待される。



【稚児の滝自然体験モニターツアーでの陶芸教室】

代表者からひとこと

「3月に完成した登り窯は、6月に初めての火入れを行う予定です。

今後も、地元の方と力をあわせ、陶芸を中心としたさまざまな体験事業を精力的に展開していきます。

そして、この長谷がたくさんの方に訪れてもらえるような場所になることを楽しみにしています」。



田代 昌弘 理事長



【南薩地域振興局でのパートナーシップミーティングの様子】

共生・協働の地域づくりやNPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階)

☎099-286-2241

◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内)

☎099-221-6613

関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。